

iPhone および iPad 版 Cisco Jabber 12.7 リリースノート

初版：2019年9月9日

最終更新：2020年1月14日

リリースの新機能 12.7(1)

解決済みの不具合 (p.11)

このリリースでは、いくつかの既知の問題が修正されています。このリリースで修正された警告のリストについては、「リリース 12.7(1)の解決済みの警告」の項を参照してください。

リリースの新機能 12.7

ユーザエクスペリエンスの向上

ビデオ通話の開始

管理者は、携帯ネットワークを介した Jabber コールが新しい StartCallsWithVideoOverCellular パラメータを使用してビデオで始まるかどうかのデフォルト値を制御できます。**False** (デフォルト) に設定すると、携帯ネットワーク経由のコールはビデオなしで開始されます。**[True]** に設定すると、コールはビデオで開始されます。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

ユーザは、携帯電話ネットワーク上の **[設定 (Settings)] > [コールオプション (call options)] > コール機能** でこの設定を変更できます。

アプリケーション評価動作

ユーザが Jabber ラップされた ipa ファイルをインストールすると、Jabber にコールを発信した後にアプリケーションを評価するように求める通知が表示されません。

シングルナンバー リーチ設定 (Single Number Reach Settings)

これで、シングルナンバー リーチのセットアップが容易になります。これにより、異なるデバイスに発信されたコールが1つの番号ですべてに到達できるようになります。シングルナンバー リーチ オプションは、**[設定 (Settings)]** で直接確認できます。

未読メッセージの削除通知を抑制するパラメータ

IM プッシュ通知を有効にすると、一部のユーザは、サーバからの未開封メッセージの削除に関する通知を受信します。通知は、メッセージキューが大きすぎる場合、またはセッション取り組みが最後に長すぎる場合に表示されます。

UnreadMessageDeleteAlertパラメータがこれらの通知が抑制されます。デフォルト値の**true**は、通知を示します。値を**false**に設定すると、これらの通知は表示されません。

現代の入力ボックスのスタイル

モバイルデバイスでメッセージを送信する方法が改善されました。ファイル、ビデオ、または写真を追加するためのオプションは、顔文字の横にある画面の下部に移動しました。

Jabber チームメッセージング モード

チームメッセージングモードの Safari ビューのサポート

シングルサインオン (SSO) を使用した展開では、Jabber は最初に Webex プラットフォームで認証し、次に Unified Communications Manager を使用して認証を行います。デフォルトでは、Jabber は Web ビューを使用してユーザを SSO にサインインします。

ユーザが Safari ブラウザのビューを使用して Webex プラットフォームで SSO 認証を実行できるようにするには、AllowTeamsUseEmbeddedSafari パラメータを設定します。

Cisco Webex Control Hub を介してクライアントを構成する

Jabber Team メッセージングモードは、Cisco Unified Communications Manager とその呼び出し機能を必要としない IM 専用モードで実行できます。Jabber 設定ファイルの展開サイトとして Unified CM を置き換えるために、Jabber 設定ファイルをコントロールハブにアップロードできます。組織ごとに 1 つの構成ファイルをアップロードできます。

サービスに移動してから、メッセージカードを選択して **設定** を選んでください。アップロード設定ファイルを選択します。このファイルは .xml 形式である必要があります。

コントロールハブと Unified CM の両方に Jabber 設定ファイルがある場合、Unified CM のパラメータの値が優先されます。

People Insights

People Insights は、Jabber Team Message Mode ユーザーに連絡先の専門的プロファイルを提供します。連絡先カードが表示される場所であればどこでも、連絡先リスト、会話、通話履歴、Voice Mail 履歴からユーザーは People Insights にアクセスできます。

この機能は、プロファイルで公開されている情報と、同じ会社のユーザーに対する社内ディレクトリ情報のみを表示します。この内部ディレクトリ情報は、社外のユーザーには表示されません。ユーザーは自分のプロファイルを編集して、データを追加できます。詳細については、[People Insights とは](#) を参照してください。

People Insights を有効にするには、コントロールハブに移動し、**[設定] > [ディレクトリ同期]** および **[People Insights]** を選択して、**[People Insights の表示]** トグルをオンにします。

サイレント 設定

[サイレント]設定の間隔を 30 分、1 時間、2 時間、4 時間、8 時間、24 時間に変更しました。

コンテンツ管理設定(ECM)サポート

ECM ファイルを表示、送信 および受信できます。OneDrive または SharePoint Online から ECM ファイルをアップロードし、それらを表示する権限がある他の Jabber ユーザーにチャットで送信します。ユーザーは添付ファイルを送信するときに、コンピューターまたは ECM アカウントからファイルをアップロードすることを選択できます。ユーザーは、組織内の他のユーザー、またはファイルにアクセスできる特定のユーザーにファイルを送信することを選択できます。受信者が ECM 添付ファイル付きのメッセージを取得したら、ファイルを表示または開く前に、その ECM サービスにログインする必要があります。

詳細については、<https://help.webex.com/en-us/nfia8at/>

[Configure-Enterprise-Content-Management-Settings-in-Cisco-Webex-Control-Hub](https://help.webex.com/en-us/nfia8at/Configure-Enterprise-Content-Management-Settings-in-Cisco-Webex-Control-Hub) および

<https://help.webex.com/en-us/nuvy9lb/Enterprise-Content-Management-in-Cisco-Webex-Control-Hub> を参照してください。

引用メッセージ

同じスペースで別のメッセージを引用することにより、メッセージにコンテキストを追加できます。メッセージを引用するには、引用するメッセージをタッチして保持し、表示されるリストから [引用メッセージ (quote message)] を選択します。メッセージを送信すると、引用されたメッセージがスペース内のメッセージの上に表示されます。

BOT サポート

BOT が検索結果に表示されるようになりました。BOT をスペースや既存の会話に追加し、BOT で新しいコンバージョンを作成できます。BOT を見つけるには、検索バーに移動し、名前の最初の数文字を入力します。BOT は、連絡先とディレクトリの結果の下に、独自のカテゴリで表示されます。

Jabber Team Messaging Mode ユーザーは、Webex Platform Service の一部として展開されている BOT を検索して使用できます。これらの BOT は [Cisco Webex App Hub](#) で見つけるか、ユーザー用に [独自の BOT を開発](#) できます。Cisco Jabber BOT SDK からの BOT は、オンプレミスおよび Webex Messenger 展開でのみ機能します。

スペースの詳細

チームメッセージングモードのユーザーのスペースでは、情報アイコンがドロップダウン矢印に置き換えられました。展開すると、スペースのオプションが表示されます。たとえば、参加者の追加、お気に入りへのスペースの追加、通知のミュート、スペースに関するその他の詳細などがあります。

会議

コラボレーション ミーティング ルーム コントロールの更新

Jabber モバイル クライアント上のユーザは、以前はデスクトップ ユーザのみが使用可能だった複数の会議室制御を使用できるようになりました。

ホストは、別の参加者をホストにすることができます。新しいホストは、参加者リストの一番上に移動されます。また、すべてのユーザをミュート、またはミュート解除することもできます。会議の録画を一時停止して再開します。

ホストは、別の参加者をホストにした後、会議を終了するか、そのままにするかを選択できます。

Safari SSO トークンの改善

ユーザが Webex ミーティングの SSO 認証を実行するためのブラウザとして Safari を定義できます。以前のリリースでは、Safari ブラウザを介して Webex 会議に参加すると、ユーザが再度サインインすることがあります。リリース 12.7 では、Safari セッションは既存の SSO トークンにアクセスして、再度サインインしないようにすることができます。

会議への自動ログイン

Cisco Unified Communications Manager と Webex 会議で同じ IDP を使用して SSO が有効になっている場合、Jabber は自動的に接続されます。

セキュリティ

更新されたサインアウト動作

ユーザーが Jabber からサインアウトする場合、次にサインインするときに再認証する必要があります。

次の場合、ユーザーは再認証する必要はありません。

- 構成を変更するには、サインアウトする必要があります。
- Jabber アプリを強制終了し、再起動します。（デスクトップユーザーの場合、これには **[Jabber の終了]** を選択した場合も含まれます。）
- タッチ、指紋、または顔 ID が有効なモバイル Jabber ユーザー。

更新トークンの OAuth 処理

展開で OAuth を有効にしている場合、Jabber はデフォルトで、ユーザーがサインインするときに期限切れの更新トークンをチェックします。更新トークンの有効期限が切れた場合、ユーザーは再認証する必要があります。ユーザーがサインインしている間に更新トークンの有効期限が切れると、Jabber はセッションが期限切れになったというメッセージでログアウトします。

LegacyOAuthLogout パラメーターは、この動作を制御します。期限切れのリフレッシュトークンに対する **false** チェックのデフォルト値。値を **true** に設定すると、Jabber は期限切れの更新トークンをチェックしません。詳細については、[Cisco Jabberのパラメータ リファレンス ガイド \[英語\]](#) を参照してください。

要件

Cisco Jabber 要件

多くの Cisco Jabber 要件は複数のクライアントタイプ間で共通です。クライアント固有の要件はリリース ノートに文書化されていて、他のすべての要件は *Cisco Jabber* 用プランニングガイドに文書化されています。

iPhone および iPad 版 Cisco Jabber のオペレーティング システム

サポートされている最新のオペレーティングシステムバージョン情報については、App Store を参照してください。



重要 Cisco は、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber の現在の App Store バージョンのみサポートします。すべての iPhone および iPad 版 Cisco Jabber リリースで発生した障害は、現在のバージョンに対して評価されます。

iPhone および iPad 版 Cisco Jabber のハードウェア要件

iOS 11.X、iOS 12.X および iOS 13.X の iPhone および iPad 版 Cisco Jabber でサポートされる Apple デバイスは次のとおりです。これらのバージョンにアップグレードされないデバイスはサポートされていません。

Apple デバイス	バージョン
iPad	第 5 世代および第 6 世代
iPad Air	Air 1、Air 2 および Air 3
iPad Pro	9.7 および 10.5 インチ 12.9 インチ、第 1、第 2 および第 3 世代
iPad mini	Mini 2、mini 3、mini 4 および mini 5
iPhone	5s、6、6 Plus、6s、6s Plus、7、7 Plus、8、8 Plus、X、Xs、Xs Max、XR および SE
iPod Touch	第 6 世代
Apple Watch	Apple Watch および Apple Watch 2、3、4 で動作している WatchOS 5。

iPhone および iPad では、次の Bluetooth ヘッドセットがサポートされます。

表 1:

メーカー	モデル
Cisco	561、562
Jabra	BIZTALK 2400、Easygo、Evolve65 UC ステレオ、EXTREME 2 および Motion ¹ 、PRO 9470、Cisco 用の Speak 450、Speak 510、Stealth Supreme UC、Wave +
Jawbone	ICON（Cisco Bluetooth ヘッドセット用）
Plantronics	Voyager Edge、Voyager Edge UC、Voyager Legend、Voyager Legend UC
Sony Eriksson	MW-600

¹ は、Cisco Jabber コールの Bluetooth 制御に対応しています。この機能はファームウェアバージョン 3.72 でのみサポートされます。

アクセシビリティ

スクリーンリーダー

iPhone および iPad 版 Cisco Jabber は、VoiceOver スクリーンリーダーと互換性があります。最適なユーザエクスペリエンスを確保するために、スクリーンリーダーを必要とするユーザは常に最新のバージョンを使用する必要があります。

Assistive Touch

Explore by Touch を使用して iPhone および iPad 版 Cisco Jabber をナビゲートできます。

制限事項および制約事項

- Apple では、iOS 13 で信頼済み証明書に対する新しい要件があります (<https://support.apple.com/en-us/HT210176> を参照)。Unified Communications Manager、IM and Presence、および Expressway サーバがこれらの要件を満たしていることを確認してください。証明書がこれらの要件を満たしていない場合、セッションごとに証明書を承認するよう求めるメッセージがユーザに表示されます。
- 2G、3G または 4G ネットワークで Expressway for Mobile and Remote Access を使用して iPhone および iPad 版 Cisco Jabber で発信すると、ネットワークの不安定性から音声品質の問題が発生する可能性があります。
- バージョン 8.10.X よりも前の Cisco TelePresence Video Communication Server Control (VCS) では、編集可能な着信ルールを設定して、モバイルおよび Remote Access で Cisco Jabber を使用するユーザ向けにシングルナンバー リーチを有効にする必要があります。詳細につ

いては、Cisco Jabber 12.0 の機能構成ガイドのシングル ナンバー リーチの有効化のセクションで制限を参照してください。

- モバイルクライアントのための Cisco Jabber は、電話だけのアカウントを持つユーザーのお気に入りアイコンを表示されません。
- Apple プッシュ通知なしでは、Cisco Jabber は中断され、着信やチャットを受信、iOS は Cisco Jabber を復帰しません。数分後、または Cisco Jabber が前景に撮影されたとき通話やインスタントメッセージがデバイスに表示されます。この問題を回避するには、iOS デバイスで **設定 > 一般的な > リセット > ネットワーク設定のリセット** を使用してネットワーク設定をリセットします。
- ユーザーは、ハイブリッドクラウドモードで彼らがいる場合を除き、手動で電話サービスサーバーをもはや編集できます。ハイブリッド展開では、管理者は編集可能に電話サービスサーバーを構成できます。
- 固定電話の機能の最初の使用は、企業ネットワークまたはVPN適切な証明書のインストールを確認するにしなければなりません。
- 音声ピンはバックグラウンドノイズに非常に敏感、バックグラウンドノイズをユーザーが何も入力しない時のユーザー入力として解釈されることがVoice Mail の認識。この機能を無効にするには <https://www.Cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-maintenance-guides-list.html> で System Cisco Unity Connection アドミニストレーションガイドを参照してください。
- Cisco Unified Communications Manager の証明書が中間証明機関によって発行されたとき、証明書検証ウィンドウがポップアップします。中間証明機関ではなくルート署名のある証明書を使用します。
- 10.5 リリース以降では、構成、連絡先、資格情報、履歴、ログ、写真などを含むすべての Cisco Jabber アカウント関連ファイルは、プライバシー上の理由により iCloud と iTunes にバックアップされません。
- Cisco Unified Communications Manager 11.0 ユーザーの作成と構成のデバイス-RSA のみ、EC のみ、EC を優先すると、バックアップまたは RSA キーの順序を指定できます。今 Cisco Unified Communications Manager 11.0 ユーザーのためのデバイスを作成する場合。Cisco Jabber による EC のみオプションが現在サポートされなくて、それを選択するとクライアントがサーバーへの接続に失敗した場合があります。
- バックグラウンドで実行している Jabber では、ユーザーがネットワーク間を移動しようとする場合;たとえば、WiFi から 3G など、クライアントをサーバーから切断します。再接続できるまで 11 分かかる場合があります、またミスコールにつながる場合があります。ミスコールを避けるために、Apple プッシュ通知サービスを有効にすることを推奨します。
- Cisco Jabber に共通 Id に移行しているいくつかのユーザーの署名に関する既知の問題があります。ユーザがユーザ名とパスワードを入力する場合に、誤ったユーザ名またはパスワードエラーメッセージを受信する場合は、次のナレッジベース記事を参照してください。
[https:// Cisco-support.webex.com/guest/articles/en_US/Troubleshooting/WBX000019555/myr=false](https://Cisco-support.webex.com/guest/articles/en_US/Troubleshooting/WBX000019555/myr=false)。

- CallKit 機能は中国では政府/自治体 規制により無効です。

iPhone

- 特定の制限のため、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber が iOS で実行されている場合は、着信通知に 100% の信頼性を必要とするユーザーに対し、Cisco Unified Communications Manager にシングル ナンバー リーチ (SNR) 機能を構成します。次のような制約があります。
 - iOS はリソースを保全するため、バックグラウンドで実行されている Cisco Jabber および他のアプリケーションをシャットダウンする場合があります。クライアントが再起動しようとする、呼び出しを見逃す可能性があります。影響を最小化するために、Apple プッシュ通知サービスを有効にすることを推奨します。
 - Apple プッシュ通知 (APN) が不在の場合、デバイスは、スリープモードの時に、Wi-Fi データネットワークからモバイル音声ネットワークへ接続を切り替える場合があります。この問題のため着信コールをミスする場合があります。この問題を防ぐためには、iPhone の設定に移動し、**携帯電話のデータ** をオフにするか、**SNR** をオンにします。
 - オンデマンド接続が有効であり、ユーザーがネットワークを変更する場合に、VPN を切断できます。iPhone および iPad 版 Cisco Jabber は、VPN を介して再接続するまでに 11 分かかることがあります。この問題は、着信のミスコールにつながる場合があります。これは、Wi-Fi 信号が安定していない場合、または、モバイルネットワークが優先され Wi-Fi とモバイルネットワークを切り替える場合で、Jabber は移行中のために電話機に迅速に接続することができない場合に発生します。iPhone および iPad 版 Cisco Jabber の再接続後、アカウントで Voice Mail を有効にしているユーザーは、Voice Mail に行ってしまったすべてのミスコールについての Voice Mail 通知を受け取ります。再接続する時間を最小限に抑えるため、ユーザーは接続環境を変更した後に、アプリをフォアグラウンドに移動することができます。また、Apple プッシュ通知サービスを有効にすることも推奨します。
- **Cisco Webex Meetings** — ミーティングサイトタイプが ORION の場合、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber は、モバイルおよび Remote Access ネットワークの Expressway 上で Webex Meetings を開始できません。
- iPhone の Cisco Jabber がパケット損失のためにプライマリのサブスクリバに到達できない場合、セカンダリの CM ノードにフェールオーバーしません。詳細については、次のサイトを参照してください。 [CSCux83785](#)。
- Cisco Unified Communications Manager で Dial via Office を Reverse (DVO-R) に設定している場合、次の内容を検討してください。
 - モバイルネットワークに接続できるデバイスである必要があるため、この機能は iPhone のみに適用され、iPad や iPod Touch のデバイスはサポートしていません。
 - 社内ネットワークの外部にいる場合は、Expressway for Mobile and Remote Access 経由で DvO-R コールを行うことができます。DVO-R は、Cisco Expressway X8.7 上および Cisco Unified Communications Manager 11.0(1a)SU1 でサポートされています。

- DVO が有効になっているデバイスは、Cisco Unified Communications Manager 8.6 以上での登録時に問題が発生する恐れがあります。Cisco Unified Communications Manager 管理デバイスから該当するデバイスをリセットすると、この問題が修正されます。
 - この機能を使用するには、Cisco Unified Communications Manager がリリース 8.6.2 SU4、9.1.2、または 10.x である必要があります。
 - この機能は、セキュアコール機能を組み合わせて使用できません。DVO-R が有効な場合、セキュアコールを確立できません。
 - Cisco Unified Communications Manager に制約があるため、ユーザが SIP トランク経由で無効な電話番号に DVO-R 発信をかけると、その番号が無効である旨の音声メッセージは流れずに数秒無音になります。
-
- Cisco Unified Communications Manager 通話でユーザにモバイルからの着信通話があると、iPhone が鳴りはじめ、ユーザにモバイルからの着信通話に応答するかしないかを促します。これと同時に、Cisco Jabber 上の Cisco Unified Communications Manager 通話は自動的に保留されます。
 - Cisco Jabber のチャットと着信を逃さないようにするには、**[iOS 設定] > [通知センター]** で、Cisco Jabber の音声設定がオンになっていることを確認してください。
 - VoIP 通話の発信中に、Cisco Unified Communications Manager 通信で着信があると、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber が Voice Mail にその着信通話を送信します。Voice Mail がない場合には、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber はその着信を無視します。
 - アドホック会議の参加者の最大人数は、TCT デバイス発信の最大人数である 3 人に制限されています。アドホック会議の最大参加者数は、Cisco Unified Communications Manager の **[サービスパラメータの設定] > [クラスター全体のパラメーター] > [必要な最大アドホック会議]** で設定します。
 - 企業内の Wi-Fi や企業内のモバイル データ ネットワークではない場合、音声とビデオの品質は保証されません。
 - ビデオ通話の品質は、ネットワーク接続によって異なります。Cisco Technical Assistance Center (TAC) は、3G または 4G ネットワークを使用して iPhone および iPad 版 Cisco Jabber を Cisco AnyConnect セキュアモバイルクライアントまたは別の VPN クライアントと接続する場合、ビデオ品質のトラブルシューティングを行うことができません。
 - iPhone に着信通話を受信すると、電話は他の全てのアプリケーションのマイクを自動的に無効化し、また、他の着信を受信する必要がある状態であることを現在の発信者に通知する機会もありません。新たな着信通話を受けると、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber の Cisco Unified Communications Manager 通話は自動的に保留となり、電話通話を終了するまで返信することができません。この問題を回避するには、着信を受け取らずに、再開をタップすると現在の発信者と再び会話ができるようになります。お使いのデバイスがロックされている場合、Sleep/Wake ボタンの On/Off を素早く 2 回押して着信を拒否し、再開をタップします。
 - SIP ダイジェスト認証はサポートされていません。

- ディレクトリ ソースとしての Cisco Unified Communications Manager は、Cisco Unified Communications Manager のノードが処理できるデバイスのキャパシティの50%までスケールリングが可能です。
- デバイスが応答不可 (DND) モードでロックされている場合、Cisco Jabber 着信を受信すると振動します。
- iOS 10 で Cisco Jabber 11.8 を使用している場合、CallKit が Apple Watch では動作しないため、Apple Watch で着信通知を受け取ることができません。これは Apple iOS の制限です。
- バックグラウンドで数時間経つと、Jabber は通知なしで再起動します。

iPad

- ユーザーがネットワーク間を移動していると、応答可能性ステータスが正確に示されない場合があります。
- TelePresence またはビデオブリッジを使用してデバイスに接続する場合、Cisco TelePresence System (CTS) デバイスにより、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber は相互運用性と最大限のビデオ品質をサポートします。ビデオ通話に参加するために使用できるデバイスの数は、マルチポイントコントロールユニット (MCU) と会議ブリッジで定義されている設定によって異なります。

CTS の相互運用に必要なバージョンと設定

VCS コール制御環境については以下のとおりです。

1.9.1(68) またはそれ以降のファームウェアのバージョン、すべての CTS デバイスを使用する必要があります。

Cisco Unified Communications Manager コール制御環境については以下のとおりです。

- 1.9.1(68) またはそれ以降のファームウェアのバージョン、すべての CTS デバイスを使用する必要があります。
- iPad および CTS のメディア領域を作成するには以下の手順に従ってください。
 1. 2つの領域のうち、1つ目はCTS用でビデオ通話の最大ビットレート 3200 Kbps、2つ目は iPad 用でビデオ通話の最大ビットレート 758 Kbps でプロビジョニングします。
 2. 手順 1 で説明されているように、CTS 領域から iPad 領域へ領域をリンクさせ、ビデオ通話の最大ビットレートを 512 Kbps とします。

VCS のファームウェアとハードウェア コーデックのバージョンを確認するには、Cisco TelePresence System 管理のデバイス情報画面を確認します。

セットアップの詳細については、Cisco Unified Communications Manager 管理ドキュメンテーションを参照してください。

- 自分の組織内のユーザーの連絡先をブロックすることはできません。

- iPad 以外の別のデバイスで連絡先のグループを削除しても、iPhone および iPad 版 Cisco Jabber には表示が残ります。変更を有効にするためには、サインアウトし、サインインしなおす必要があります。
- **[Webex ミーティング]** でサインインやタップをして会議を開始するなどの操作を開始し、その操作が完了する前に iPhone および iPad 版 Cisco Jabber をバックグラウンドに移すと、アクションを正常に完了できません。
- **[Webex ミーティング]** をタップして会議を開始する場合、会議の招待状は会議の開始時点もしくは会議が開始してから60秒経過した時点で送られます。
- Cisco Jabber 通信中に Cisco Jabber をバックグラウンドに移動させると、IOS バージョンによっては発信インジケータが Cisco Jabber が録音中である旨を表示することがあります。

Apple Watch

通知は Jabber チームメッセージモードの Apple Watch ではサポートされていません。

パフォーマンスと動作に関するメモ

複数リソースのログイン

ユーザーが、クライアントの複数のインスタンスに同時にサインインした場合、チャット機能は次の動作をします。

- 最初のチャットの受信中のメッセージは、すべてのクライアントに送信されます。
- 受信チャットメッセージに応答する最初のクライアントが、後続のすべてのメッセージを取得します。他のクライアントは、これらの後続の受信メッセージを取得できません。
- クライアントがチャット機能を5分間の使用しないときに、次の受信メッセージはすべてのクライアントに再び送信されます。

エンタープライズグループの連絡先解決

Jabber は、エンタープライズグループ内の連絡先を一度に全てではなく、一度に1つずつ解決します。結果として、エンタープライズグループをユーザの連絡先リストに加える際—または、ローカルキャッシュを消去する場合—その上をホバーするか、または相互関与するまでは、各人のユーザ名とドメインしか見えません。

不具合

警告では予期しない動作について説明します。次の各項では、最新情報の取得方法について説明します。

バグの重大度レベル

既知の障害またはバグには、障害のプライオリティを示す重大度レベルが設定されています。これらのリリースノートには次のバグタイプが含まれています。

- 重大度レベル 1 または 2 のすべてのバグ
- 重要な重大度レベル 3 のバグ。
- シビラティ 6 の機能拡張要求を除く、お客様が発見したすべての不具合

重大度	説明
1 壊滅的 (Catastrophic)	ほぼ一般的な状況において、システム全体が機能不全に陥る、または主なサブシステムの動作が停止する、またはネットワーク上の他の装置が妨害を受けるが、回避策がありません。
2 重大 (Severe)	重要な機能が使用できなくなり、回避策がありません。その他の機能および残りのネットワークは正常に動作します。
3 中程度 (Moderate)	異例の状況で機能不全に陥るか、重要度の低い機能がまったく使用できなくなります。または、その他の機能不全に陥りますが影響を小さくする回避策はあります。 ドキュメンテーションバグの最も高いレベル。
4 軽微 (Minor)	極めて異例の状況で機能不全に陥りますが、動作は基本的に特に操作しなくても回復します。ユーザは回避策を講じる必要はなく、パフォーマンスへの影響は許容範囲内です。
5 表面的 (Cosmetic)	システムの機能に対する悪影響はありません。
6 機能強化 (Enhancement)	新機能または機能改善に対する要求です。

バグの検索

ここに示されていないバグを検索するには、バグ検索ツールを使用します。

手順

-
- ステップ 1** バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search> をクリックします。
- ステップ 2** 自分の Cisco .com のユーザ ID とパスワードでサインインします。
- ステップ 3** 特定の問題の情報を検索するには、**[検索 (Search for)]** フィールドにバグ ID 番号を入力して **[入力 (Enter)]** を押します。または、製品およびリリースで検索できます。
-

リリース 12.7 (1) で解決済みの問題

ID	重大度	見出し
CSCvr55497	2	Jabber 12.7 の場合、ユーザは CUCM クラスタの移行後にログインできない
CSCvr40957	3	モバイルネットワーク経由で接続されている場合、MFT は J4I で機能しない
CSCvr66108	3	Jabber iOS 12.6 が CWMS で認証されない
CSCvr61388	3	UDS プロキシスイッチ経由で誤ったユーザに Jabber 検索結果を送信する

リリース 12.7 で未解決の問題

ID	重大度	見出し
CSCvr12542	3	Jabber は、MRA を介したフェールオーバー シナリオのアクセス トークンを更新しない

リリース 12.7 で解決済みの問題

ID	重大度	見出し
CSCvp25135	3	2番目のコールに対して「保留して受け入れる」操作を実行しても、断続的に音声の問題が発生しない
CSCvq70474	3	不在時にプレゼンスをオフラインで表示する iPhone
CSCvq95562	4	バックグラウンドでコールが着信すると、Jabber はセッションの期限切れを求めるプロンプトを表示しない

